



を図っていますが、今年度から中学校でもこの検査を導入し学力の向上に役立てたいと考えています。

英語教育では、引き続き民間委託方式を取り入れ、幼稚園や小・中学校で、より効果的な英語教育の推進を図ります。また、学習指導要領の改訂により、平成23年から小学校5・6年生は、英語教育が週1時間、年間35時間実施されるようになります。これに先立ち推進モデルとして愛媛県では県内20市町すべてで1校を指定校として推進することとしています。本町でも指定校は1校ですが、町単独で残り2校の小学校もあわせて一斉に行うこととします。

○ 特別支援教育

学校生活支援員を適正に配置し、集団生活での支援と社会的自立に向けた指導を行います。また、幼稚園や学校を支援するため、地域住民



松前中学校体育館

や大学生などによる学校サポートボランティアの登録・活用による支援活動をさらに拡充していきたいと考えています。

○ 豊かな感性や人間性の育成

昨年は中学生全員に実施したので、本年は新1年生を対象に坊っちゃん劇場での生の舞台を観劇することとしています。

○ 学校施設整備

松前中学校体育館の改築を行うとともに、施設の耐震化を計画的に進めるため松前小学校校舎の耐震2次診断を実施します。

○ 幼稚園教育

保育時間の延長を始め、遊びを中心とした集団生活の中で、豊かな体験をさせ、幼児期にふさわしい道徳性が芽生えるように努力したいと考えています。

国では、中央教育審議会、教育再生会議などによる様々な教育改革が推進されています。ゆとり教育の見直しや授業時間数の増加などの改正は、これまでの学校教育の取組みを大きく転換させるものです。教育委員会や学校現場では、「基礎的な知識・技能の確実な定着」と「生きる力」を育むための総合的な学習も大切にしながら、改革の本質を慎重に見極め、より良い教育環境を築いていきたいと考えています。

○ 生涯学習の充実

「まさきふれあい学園」の各種講座の内容や生涯学習の機会の充実を図るとともに、「公民館サポーター養成講座」を修了された方々を中心に、自分たちで企画・立案した事業を運営していただく「町民企画講座」を引き続き実施します。この講座を通して住民の皆さんと町の協働による公民館の活性化に努めます。

○ 放課後子どもプラン

運営委員会を設置し、松前町の子どもたちの放課後対策事業について総合的に検討・検証していくとともに、各校区に実行委員会を組織し、年度後半からプランがスタートできるよう、事業推進を図ります。

また、17年度から、小学校4年生以上を対象に始めた「チャレンジ合宿」については、昨年



チャレンジ合宿